

成果と課題及び指導改善のポイント

中学校数学（中学2年生）

成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)の出題のねらい

- ◇ 数量を文字式で表すことができる。
- ◇ 数量の間の関係を不等式に表すことができる。
- ◇ 比例の考え方を利用し、追加で花束を作ったときにかかる時間を求めることができる。
- ◆1 与えられた文章題に対して、適切な一元一次方程式を立式することができる。
- ◆2 関数について理解している。
- ◆3 ヒストグラムから階級の幅を読み取ることができる。
- ◆4 ある傾向が強いと思われる一方を選び、その理由を二つの相対度数の度数折れ線から読み取った傾向をもとに説明することができる。

課題に対応した指導改善のポイント

具体的な場面で一元一次方程式をつくる設問、二つの数量の関係を「…は…の関数である」と表現する設問、統計的に問題解決する設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、次のような指導改善を行いましょう。

- ◆1 方程式を具体的な場面で活用することができるように、表や線分図、言葉の式などを基に、特定の量に着目して数量の関係を整理し、相等関係を見いだす活動を設定する。
- ◆2 関数関係の意味を理解することができるように、関数関係にある二つの数量の関係を、一方の変数（独立変数）と他方の変数を明確にして「…は…の関数である」という形で表現する活動を設定する。
- ◆3,4 統計的に問題解決することができるように、日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、目的に応じてデータを収集し、ヒストグラムや度数折れ線（度数分布多角形）などを用いて、そのデータの分布の傾向を読み取り説明する一連の活動を設定する。その際、階級の幅を変えてデータを比較したり、分布の形に着目し複数の度数折れ線を比較したりする活動を設定する。



佐賀県教育センターWeb ページ「授業に役立つ実践研究」においても、授業改善に役立つコンテンツ等を発信しています。ぜひ、御活用ください。

